

ピンボーリング

1. ゲームの概要

ピンボーリングは、現在の室内ゲームで大型機械化されたボーリングを、ピン配列を工夫し、横に並べ簡便化したものである。名の通り、豆がはじけるようにピンにボールが当たると反転したり、自動的に元にもどるようになっている。コントロールやバランスを競うゲームで、体格や体力に関係なく、老若男女誰でも楽しめる軽スポーツである。

2. 用具

ピンセット : 1
ボール : 4 (赤・白各2)
レーン (0.9m×10m) : 1

3. 人数、ゲームの種類

シングル (計2名)、ダブルス (計4名)
団体戦 (5対5) も可能。

4. ゲーム

(1) ゲームの進め方

室内ボーリングとほぼ同じ。プレーヤーは、ボールを転がして、9本のピンに当て、反転したピン数を得点とする。ただし、反転後リバウンドし、元にもどったピンは得点として加算されない。(ガーター)

- ① ジャンケンによって先攻 (赤) 後攻 (白) を決め、主審のコールにより、プレー開始。
- ② プレーヤーは、1フレーム2球 (同色球) ずつ投球する。
- ③ 投球ラインからピンまでの長さは、5m、7m、9mで、この3つの投球ラインから3フレームずつ、すなわち9フレーム投げて1回のゲームとなる。(9フレームとも投球距離を等距離にしてもよい)

(2) 反則：投球動作中の反則。(ファール)

以下の場合、ファールとなり、取得した得点は無効、投順は次投者に移る。

- ① 投球動作中に投球ラインを踏んだり、越えたりした場合。
- ② 転がした後、足が投球ラインから出てしまった場合。ただし、投球ラインから手が出ていてもかまわない。
- ③ 投球中、手から離れレーンに落ちたボールの位置が投球エリア外だった場合。
(オンラインもファールとみなす)

5. 勝敗

9本のピンのうち、中央にある無表示のピンは、ストライクピンと呼び、最初の投球で反転した場合は、20点 (ストライク) となる。また、2投目でストライクピンが反転した場合はスペアとなり、10点の得点になる。したがって、1投目にストライクピンが反転し、2投目で5の表示ピンが反転した場合の1フレームの得点は25点となる。

ストライクやスペアをとっても、次のフレームには加算されず1フレームずつの得点を合計して競い合う。

7. ボールの転がし方

- ①ボールは、決められた投球ラインと1つ後ろの投球ラインの間（投球エリア）で投球動作し、投球する。
- ②バックスイングと同時に左足を踏み出し（左ききの人は右足）腰の安定を保って踏み出した足にそってボールを転がす。